

Yume's 吉田 昌美さん

吉田昌美さんは社会福祉法人 ほどがや地域活動ホームゆめの理事長
今年で80歳。

吉田さんと出会ったのは今年の4月中国の大連障害者連合会が横浜
に来たとき、吉田さんにいろいろ話を聞くたびに、いつでも夢を感じさせ
ていただきました。

4月12日かたるべ会の取材チームが吉田さんを取材させていただきました。
した。

質問①吉田さんが福祉の仕事をするきっかけはなんですか

弟が20代の時に事故により障害者になってしまい、家族全員が献身的な世話をしたおかげで回復した。このきっかけで障害者に関心を持つようになった。

質問②吉田さんはいままでどんなお仕事をしていましたか

北海道出身吉田正美さんは 1932年誕生・生まれ、今年80歳です、
27歳 横浜にきました。

会社に勤めて、三つの役員、ボランティアをしていた。

そのうちに福祉の仕事が好きになった。

1954年友人と一緒に同愛会を立ち上げた。

昭和53年 1977年4月 同好会ができてから一か月、5月、白根学園へ
行きました。

1988年4月まで10年間 白根学園の施設長を務めてから同愛会に
戻りました。

質問③現在のほどがや地域活動ホームゆめのことご紹介していただけま
せんか

保土ヶ谷区の障害がある方の地域での支援の拠点として2004年設置
されました。こちらの事業所を通して、ご本人やご家族の充実した地域生
活を応援します。

主な支援活動は次のような活動です。

日中活動(生活介護事業、地域活動支援)

移動支援事業(ヘルパステーション)

余暇活動、居場所作り事業、地域交流事業(ボランティア活動の応援)、

児童デイサービス

生活支援事業(一時ケア、ショートステイ)

後見的支援事業、相談事業など

いま登録の利用者は880名で、契約者は150名です。

質問④中国の政府に招待されたことがあったことについて教えていただけますか

幼いごろお父さん仕事で、家族全員中国の湖北省の武漢にいました。

5歳から15歳まで中国で過ごしました。中国が好きになりました。

1970年代から23年間の間に、弟と一緒に中国からの留学生世話して、その中にいま北京大学の教授、華中理工大学の教授になった人もいます。そのことで兄弟4人は1994年中国の湖北省政府の国慶節招待会に招待されました。

福祉の仕事以外に鴨居地域連合会自治会の顧問をし、また鴨居地域を中心としたボーイスカウト神奈川連盟横浜地区横浜第 95 団を創立し、長年活動してきました。95 団ネッカチーフは吉田さんがデザインしました。

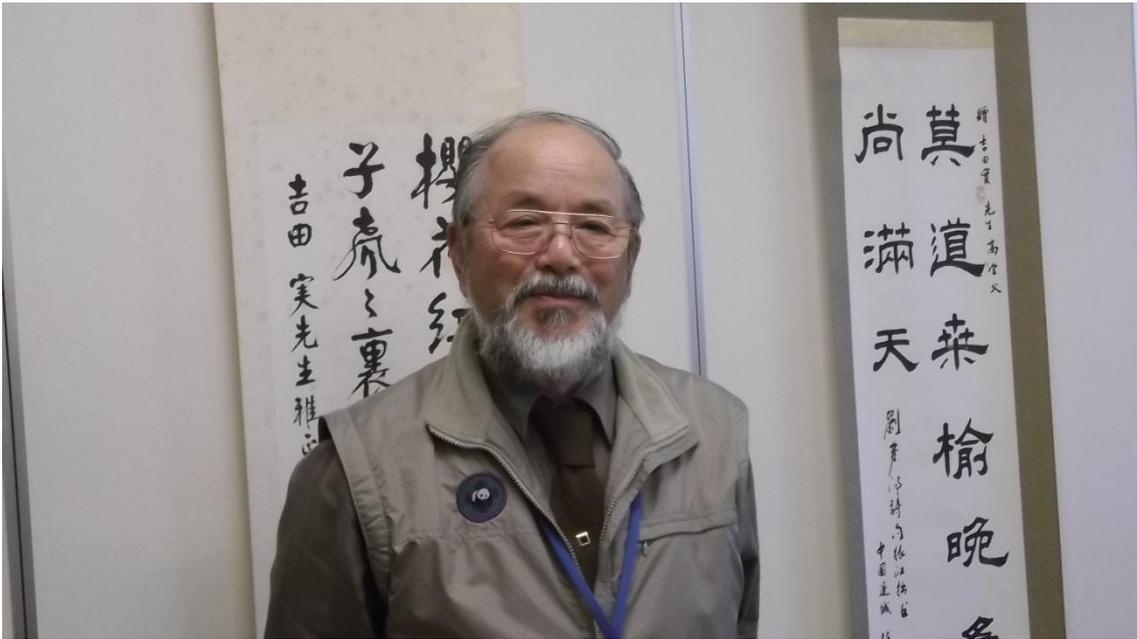
いつもイキイキし、いつでも夢のある吉田さんはとても私たちの励みになります。

吉田さんありがとうございました。

今度また夢の話をきかせてください。

吉田さんとの写真をご覧ください。

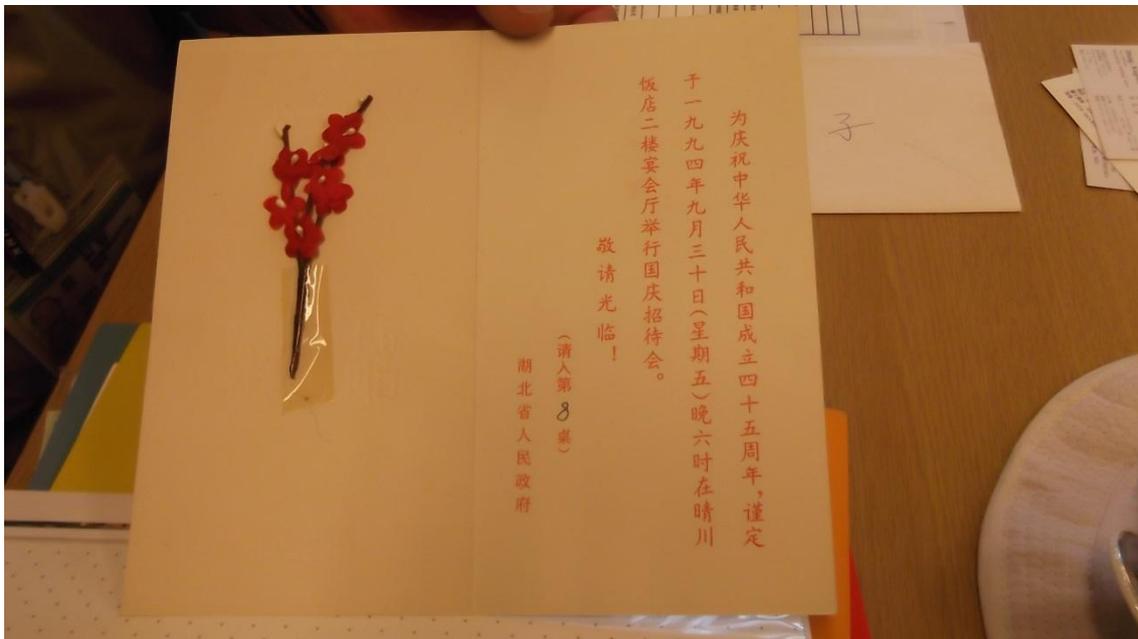
① 夢を追いつつ吉田さん



② 吉田さんがデザインしたボーイスカウトのネッカチーフ



③ 1994年中国湖北省に招待された招待状



④ かたるべ取材チーム IN ゆめ 活動ホーム

